



2027年2月期 第1四半期

決算説明資料

2026年7月14日
株式会社イートアンドホールディングス
(証券コード: 2882)

- 全体：増収増益達成

売上高は103億78百万円となり、対前年同四半期比102.6%

営業利益は5億70百万円となり、対前年同四半期比137.6%と大幅増益達成

2027年2月期上半期の上方修正を実施

- 食品事業

物価高の中で冷凍食品の利用拡大で、食品事業は全体として好調

2026年3月より発売開始したワンプレートカテゴリーが売上伸長中

冷凍焼売は、認知拡大に伴い、第1四半期におけるシェア8.8%を獲得

- 外食事業

「大阪王将」は店舗モデルの再構築で戦略を見直し、現在336店舗

「R Baker」は冷凍パン生地を核にしたビジネスモデルを確立、

旗艦店「R Baker うめきたグリーンプレイス店」では平均1,000万円/月以上の売上で推移

- 海外展開

2026年5月、北米1号店がオープン

- EC事業

オーパス社「美食点心ぎょうざ館」がグループイン、餃子のラインアップ拡大

1. 2027年2月期 第1四半期 連結決算

- ・バランスシートの状況(連結)
- ・損益の状況(連結)
- ・2027年2月期 業績予想(連結)
- ・2027年2月期 配当予想

2. 実施施策と今後の取り組み

- ・食品事業
- ・外食事業
- ・海外事業
- ・EC事業

3. イートアンドグループの概要

1. 2027年2月期 第1四半期 連結決算

バランスシートの状況(連結)

(単位:百万円)		2026年 2月末現在	2026年 5月末現在	備考
資産の部		32,479	33,742	
	流動資産	11,930	12,231	現金及び預金の増加 売掛金の減少
	固定資産	20,548	21,511	工場投資、外食事業_新規出店投資
負債の部		21,001	22,040	
	流動負債	15,598	17,555	一年内返済予定・短期借入金の増加 流動負債その他の増加
	固定負債	5,403	4,484	長期借入金の減少
純資産の部		11,477	11,702	

損益の状況(連結)

(単位: 百万円)		2026年2月期 第1四半期累計	2027年2月期 第1四半期累計	前期比
売上高		10,112	10,378	102.6%
	食品(構成比)	5,681(56.2%)	5,940(57.2%)	104.6%
	外食(構成比)	4,431(43.8%)	4,438(42.8%)	100.1%
売上総利益		4,238	4,597	108.5%
販売費及び一般管理費		3,998	4,027	100.7%
営業利益		240	570	237.6%
	営業利益率	2.4%	5.5%	+3.1pt
経常利益		245	560	228.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		137	306	223.5%

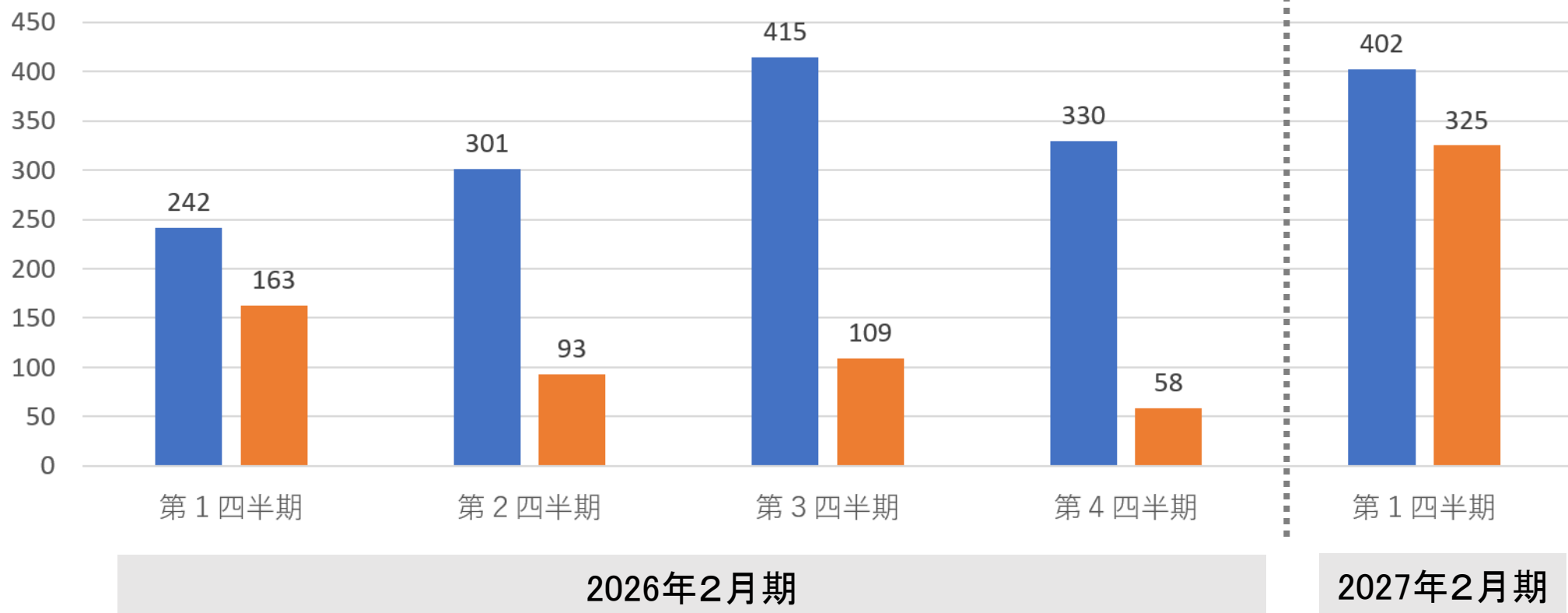
損益の状況(セグメント別)

(単位:百万円)		2026年2月期 第1四半期累計	2027年2月期 第1四半期累計	前期比
食品	売上高	5,681	5,940	104.6%
	セグメント利益	242	402	166.4%
	利益率	4.3%	6.8%	+2.5pt
外食	売上高	4,431	4,438	100.1%
	セグメント利益	163	325	199.1%
	利益率	3.7%	7.3%	+3.6pt
調整額	セグメント利益	△165	△157	—

セグメント別 営業利益推移

(百万円)

■ 食品 ■ 外食



(単位:百万円)	第2四半期予想 (累計)	前期比	通期予想	前期比
売上高	20,500	102.9%	43,000	106.3%
営業利益	720	142.3%	1,250	109.4%
経常利益	670	132.8%	1,110	100.7%
当期純利益	370	156.5%	455	121.9%

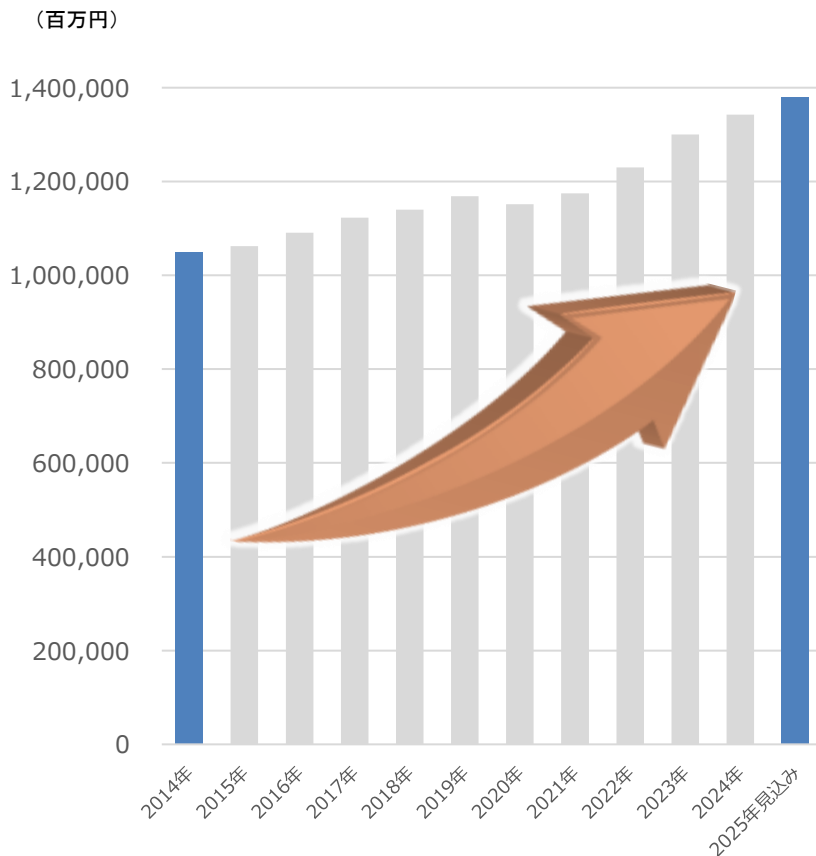
※第2四半期予想(累計)は、各利益項目を上方修正しております。

項目	第2四半期	期末	合計
配当予想	7.50円	7.50円	15.00円

食品事業

冷凍調理品市場、引き続き好調に推移

冷凍食品（販売額）



富士経済「2026年食品マーケティング便覧」

冷凍調理品は、市場全体が好調に推移。

利用頻度

Q.1年前と比べて冷凍食品を利用する頻度は？

利用頻度が「増えた」と回答した人

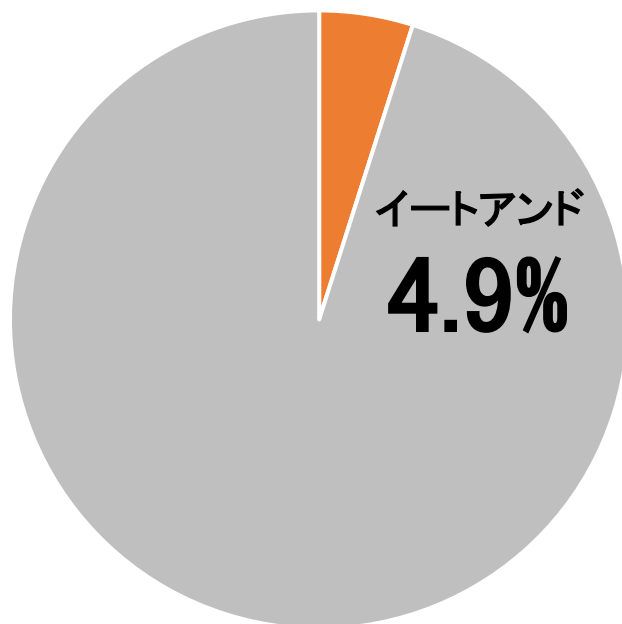


全体は男女それぞれn=750 年齢別は同じくn=125

一般社団法人日本冷凍食品協会
「冷凍食品の利用状況実態調査（2026年4月9日）より

新商品のワンプレート好調、飛躍的なシェアの伸び

プレートカテゴリー



2026年3月～2026年5月

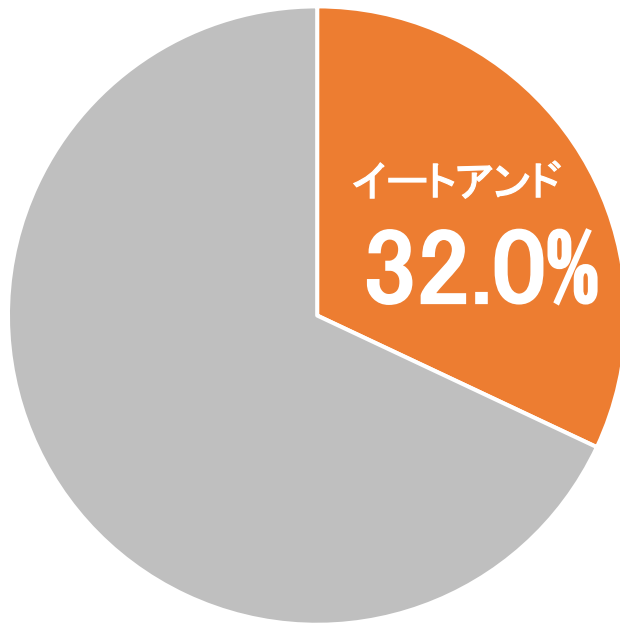
※インテージSCI(15-79歳)平均購入規模(×100)金額
2026年3月～2026年5月 購入ルート: SM、DRG、HC

外食事業で培ったノウハウを活かして開発をした
中華ワンプレート2種を2026年3月より発売。
2026年3月～5月のシェアは4.9%。
2026年5月単月のシェアは6.8%に伸長。



冷凍餃子市場におけるシェア

冷凍餃子カテゴリー



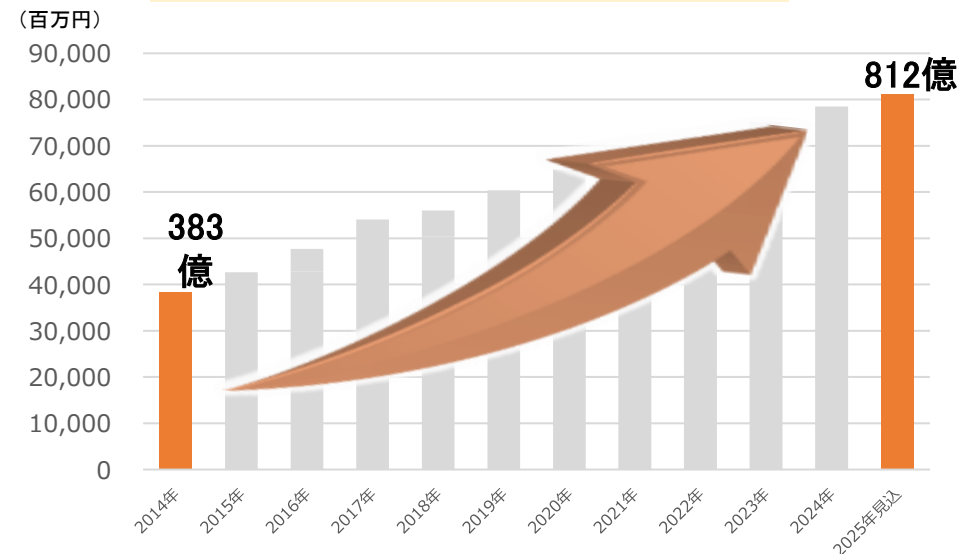
2026年3月～2026年5月

※インテージSCI(15-79歳)平均購入規模(×100)金額
2026年3月～2026年5月 購入ルート: SM、DRG、HC

冷凍餃子市場は拡大を続けており、2025年の市場規模は約812億円。

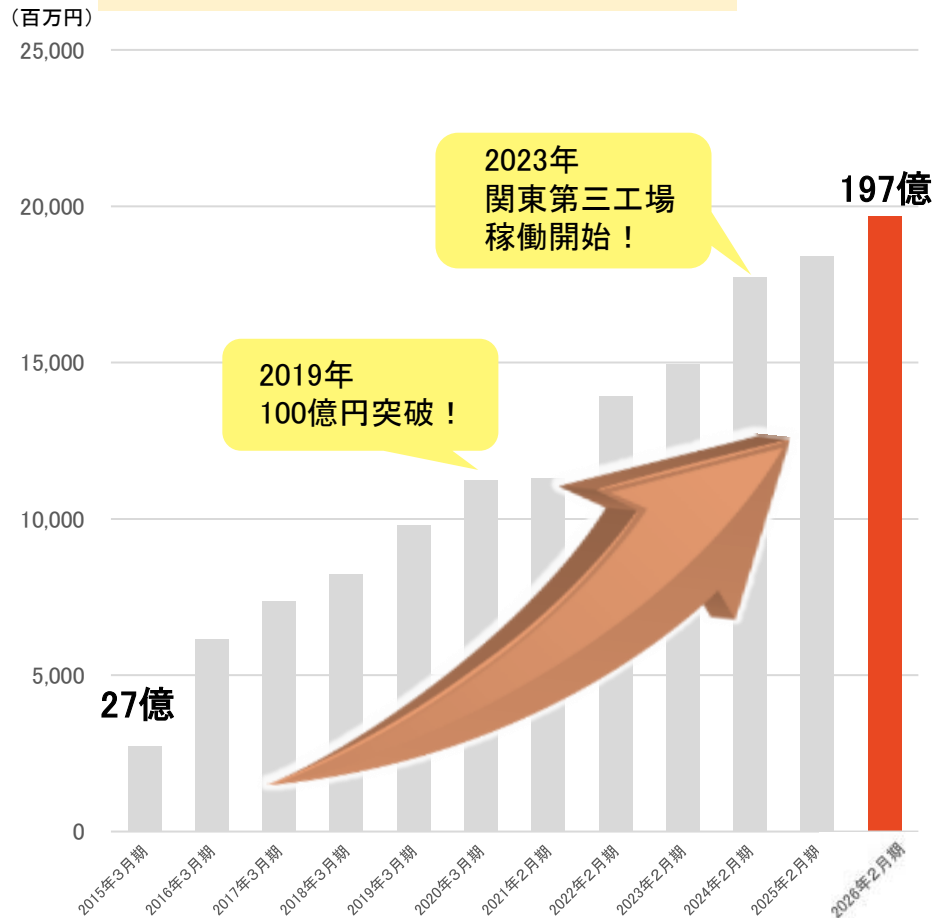
2026年3月～2026年5月までの焼き餃子と水餃子を合わせたシェアは32.0%。

冷凍餃子市場



羽根つき餃子シリーズの伸長

羽根つき餃子シリーズ売上



前期、羽根つき餃子シリーズの売上高は約197億円。
内、主力商品の『羽根つき餃子』単品の売上高は約145億円。



※2014年4月～2026年2月の商品別出荷実績に市場での販売価格で乗じて算出
※2021年2月期は決算月変更に伴い11カ月実績

フレーバー餃子の定着

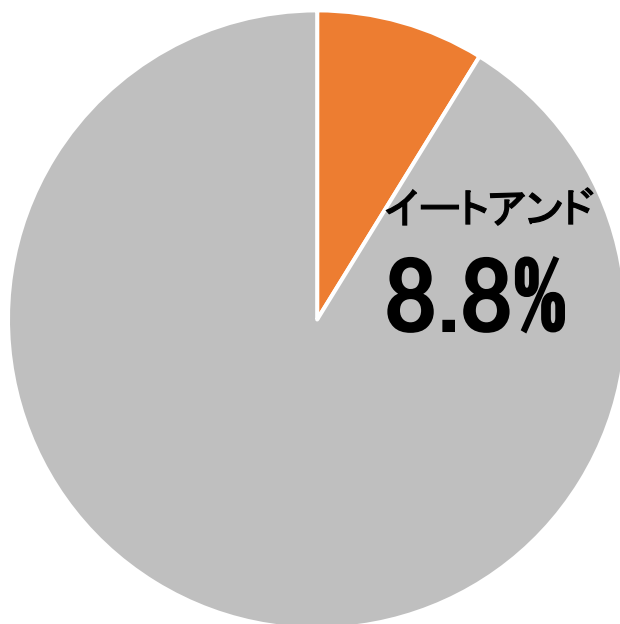


「羽根つきスタミナ肉餃子」は、
2021年3月の発売以降 右肩上がり。
2026年3月～2026年5月までの出数は
前年同期比で107.5%。



焼売の拡大

冷凍焼売カテゴリー



2026年3月～2026年5月

※インテージSCI(15-79歳)平均購入規模(×100)金額
2026年3月～2026年5月 購入ルート: SM、DRG、HC

2026年3月～2026年5月までのシェアは8.8%、
前年同期比164.0%。
5月末からは、初の焼売キャンペーンも実施し、
2026年5月単月のシェア11.2%、初のシェア10%台へ。

せいろ派? / レンジ派? / 2026.5.29(金)～7.31(金)まで! 大阪王将

大阪王将 焼売キャンペーン

総勢1,000名様にオリジナルグッズが当たる!

A賞 オリジナル せいろ付きホーロー鍋 300名様

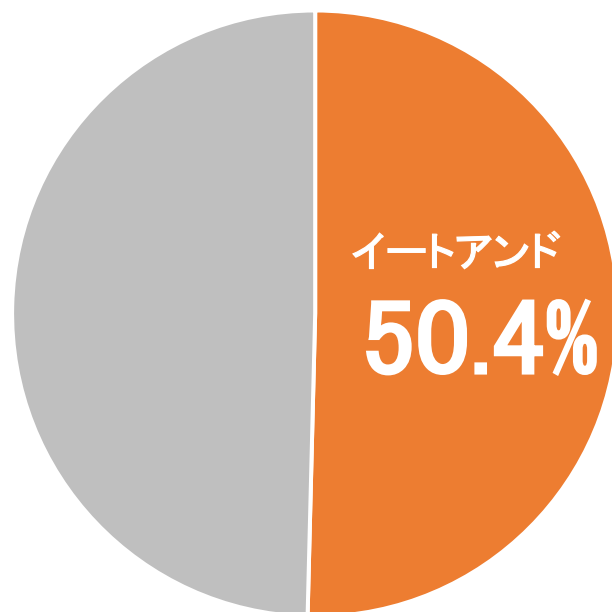
B賞 オリジナル レンジスチーマー 700名様

左記の対象商品を2パック購入してハガキorWEBで応募

たれつき肉焼売、とろーりチーズしょうまい、なにわのジュシー焼売

冷凍水餃子 12年連続売上No.1*

冷凍水餃子カテゴリー



2026年3月～2026年5月

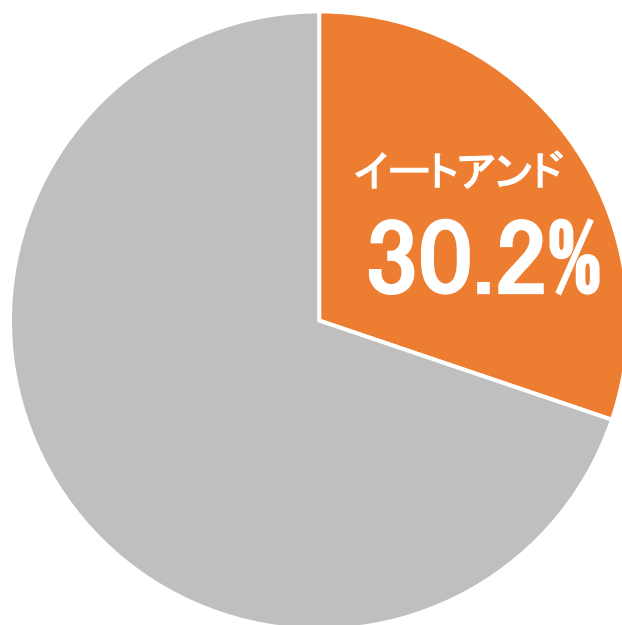
※インテージSCI(15-79歳)平均購入規模(×100)金額
2026年3月～2026年5月 購入ルート: SM、DRG、HC

2026年3月～2026年5月までのシェアは50.4%。
パッケージにおける食べ方提案、
WEBサイトやSNSでのレシピ紹介により、
水餃子の認知度・利用頻度が高まっている。



小籠包、市販用・業務用ともに拡大

冷凍小籠包カテゴリー



2026年3月～2026年5月

※インテージSCI(15-79歳)平均購入規模(×100)金額
2026年3月～2026年5月 購入ルート: SM、DRG、HC

冷凍小籠包市場において
2026年3月～2026年5月までのシェアは30.2%。
前年同期比127.9%。
市販・業務用ともに好調で、市場シェア拡大中。



西日本の生産拠点拡大、物流

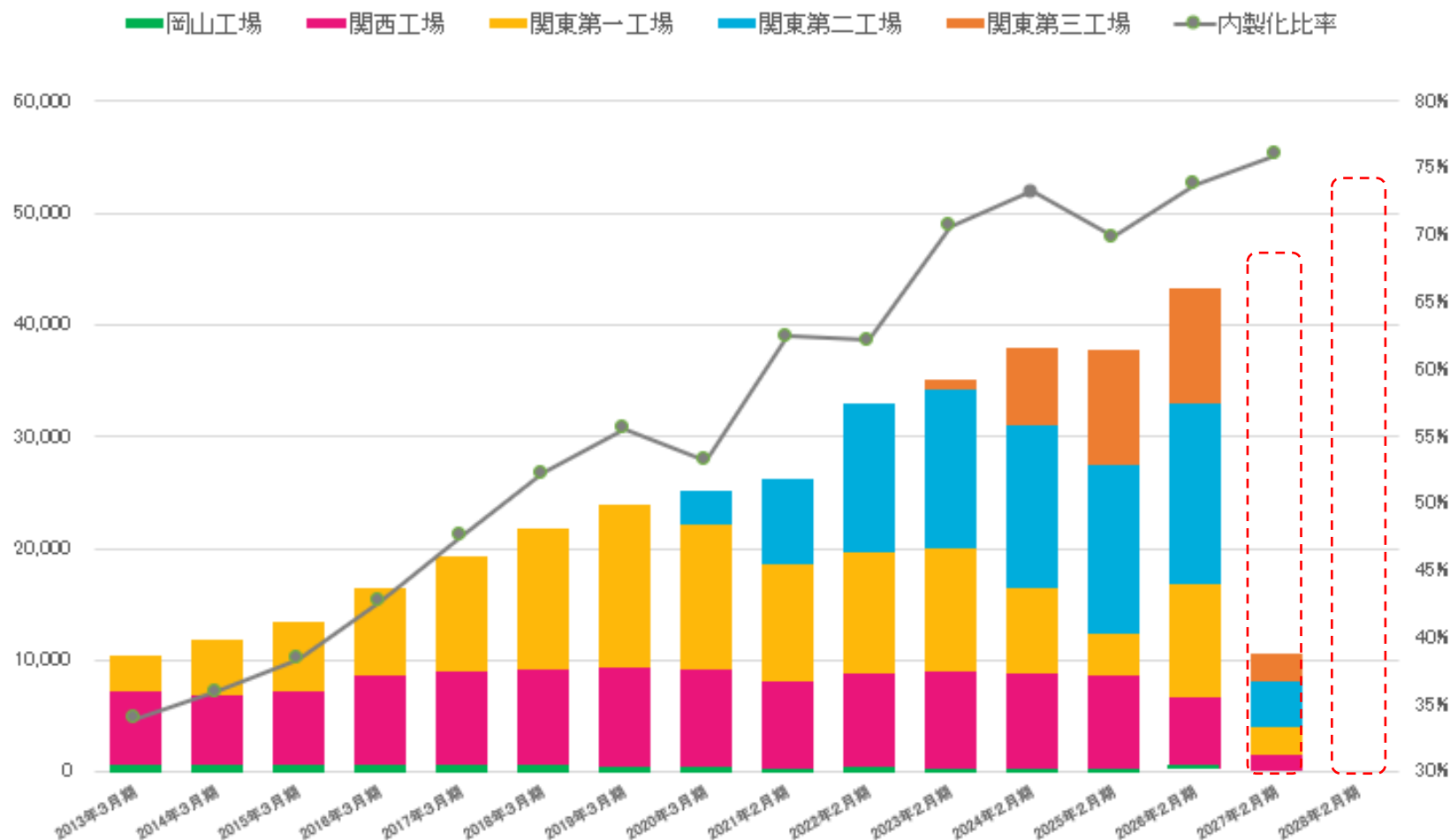


今後のさらなる需要拡大に対応するべく、宮崎県都城市に九州工場を建設中。西日本エリアへの供給体制を構築し、サプライチェーンの効率化を図る。

所在地	宮崎県都城市高城町
竣工予定年月	2026年12月予定
敷地面積	8,259.88㎡
延べ床面積	7,839.00㎡
投資総額	6,606百万円(建物・設備)
補助金額	2,084百万円
主な製造商品	羽根つき餃子 羽根つきスタミナ肉餃子 ぷるもち水餃子
生産能力	約1,300t/月 ※操業時点

工場製造量・内製化比率 推移

第1Qの生産量は10,646.4トン(前期比102.8%)、
九州工場は2027年春の操業開始時点で1,300トン/月の生産能力となる予定。



外食事業

		2026年2月末			出店			退店			2026年5月末		
		直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店
国内	大阪王将	52	290	342	2	2	4	3	7	10	51	285	336
	ラーメン	16	9	25	1	0	1	0	0	0	17	9	26
	ベーカリー・カフェ	22	26	48	0	0	0	1	3	4	21	23	44
	一品香	11	2	13	0	0	0	0	0	0	11	2	13
	その他業態	8	1	9	0	0	0	1	0	1	7	1	8
海外		8	26	34	1	1	2	0	3	3	9	24	33
グループ計		117	354	471	4	3	7	5	13	18	116	344	460

※出店・退店数には、直営店から加盟店へ運営形態を変更した1店舗、加盟店から直営店へ運営形態を変更した1店舗をそれぞれカウントしております。

満腹だけではなく心まで満たす体験を提供



「ほんまものの町中華でお腹も 心も 儲けもん」
新たな理念を設定し、
駅前・フードコート・ロードサイドと
各立地のニーズに応じたブラッシュアップを実施。



駅前モデルの勝因



駅直結ビルの「品川シーサイドフォレスト店」では、ランチ需要の他、ボトルキープサービスなど呑み需要を獲得する施策も実施。常連客の獲得と顧客のファン化につながっている。



フードコートモデルの展開



餃子、炒飯などの人気メニューを厳選し、セット化。
お客様には選びやすく、調理時間の短縮を実現。
2026年4月に
「イオンレイクタウンmori店」がオープン。



ロードサイドモデルの確立



選べるランチ、充実したデザート、
豊富なドリンクメニューを提供することで、
多様な食のニーズに対応。
2026年4月には、大阪・岸和田に
ロードサイドモデルの新店舗がオープン。



「R Baker」 セントラルキッチン(CK)を活用した店舗拡大へ



ベーカリー事業では、
CK起点で直営とFC、病院や社員食堂へ
冷凍パン生地を供給。
冷凍倉庫増設や製造機を増加し、
2024年3月の開設時の2倍の生産能力へと増強。



ヒット商品創出による快進撃



R Bakerの旗艦店
「うめきたグリーンプレイス店」では
平均1,000万円を超す月間売上を獲得。
「クロッチ」「北海道ミルクベーグル」など
ヒット商品を創出し、全店展開へつなげている。



「太陽のトマト麺withチーズ」新モデル店舗



従来のトマト麺の特徴に韓流テイストをプラス。
韓国スナックやヨーグルトアイスなどで
これまでとは異なる客層を開拓。
2026年4月「イオンモール高の原店」、
2026年7月「イオンモール橿原店」がオープン。



「SAPPORO餃子製造所」立地に合わせた店舗展開



北海道札幌市内に7店舗を展開中。
市内中央に位置する「4PLA店」では、
これまでの餃子をメインとしたお食事処から、
お酒が呑める業態へブラッシュアップし、
月商約1,000万円と好調。



「大阪王将」餃子の皮から生まれた『ぎょーナツ』

かるサクッ

ぎょーナツ

餃子の皮から生まれた
新スイーツ!!

- 5種のフレーバー
- 餃子味
- 麻婆豆腐味
- シュガー味
- いちごミルク味
- チョコレイト味

※写真はイメージです

5個 **300円** 税込

さくさく食感

大阪王将 OSAKA OHSHO

サステナビリティ

イー・アンド・グループは、持続可能な社会の実現を目指し、食料ロスを削減に取り組んでいます。

餃子専門店×ベーカリーがタッグを組んだグループ全社の食品ロス削減プロジェクト。餃子の皮の端切れを主原料にしたドーナツ。“餃子味”や“麻婆豆腐味”がメディアでも話題に。取り扱い店舗数は22店舗、今後も拡大予定。



海外事業

日本発の新価値・ワクワク体験を創出



アジア圏を中心に、大阪王将、太陽のトマト麺など店舗を拡大。現地の食文化に合わせた業態開発にも取り組む。新パートナー開拓と調達スキーム再構築により、業態・商品の競争優位を確立していく。



【北米】「OSAKA OHSHO GYOZA&TAPAS」5月オープン



手包みのクラフトで“GYOZA”を主役に、「大阪王将」のエキサイティングな食文化、日本の食べ呑み文化を体験できる店。

冷凍餃子の輸出販売を開始し、外食事業と食品事業のシナジーによる両輪事業を展開。



EC事業

「美食点心ぎょうざ館」がグループイン



オーパス社「美食点心ぎょうざ館」が、通販事業を手掛ける株式会社ナインブロックにグループイン。

「大阪王将」「SAPPORO餃子製造所」に加えて、「美食点心ぎょうざ館」を新たに加え、より多様で強固な餃子ブランド群を形成、両社の強みを活かした多くのシナジーを発揮。

健康価値を付加した商品を発売



タンパク質が摂取できる
通販限定商品『おいしいたんぱく餃子』が好評。
顧客のニーズを捉えたサービスを提供、
食を通じて顧客の悩み解決に取り組む。



3. イートアンドグループの概要

Eat & Foods



Eat& INTERNATIONAL

日常のあらゆる食シーンに、新しい食文化を創造する
「食のライフプランニングカンパニー」



カフェバー・カレー業態の
直営店・FC本部運営
食材の卸・販売



中華業態の
直営店・FC本部運営
食材の卸・販売



中華・ラーメン業態の
直営店・FC本部運営

食を通じて、
 持続可能な社会の実現に貢献し、
 + & の発想で、
 ワクワクする未来を生み出し続けます。

サステナビリティ基本方針

Eat+&の幸せを次の世代へ。

「地球環境」「地域社会」

「人とのつながり」を大切にし、

全てのステークホルダーの幸福につながる
持続可能な社会の実現を目指します。

社 名	➤ 株式会社 イートアンドホールディングス
英 文 社 名	➤ EAT&HOLDINGS Co.,Ltd
東京ヘッドオフィス	➤ 東京都品川区東品川4-12-8 品川シーサイドイーストタワー15階
大 阪 オ フ ィ ス	➤ 大阪府大阪市淀川区宮原3-3-34 新大阪DOIビル3F
設 立 年 月	➤ 1977年8月
業 種	➤ 飲食店経営および食品製造・販売
代 表 者	➤ 代表取締役会長 文野 直樹 代表取締役社長 仲田 浩康
資 本 金	➤ 31億86百万円(2026年5月末現在)
発行済株式総数	➤ 11,358,580株(2026年5月末現在)
決 算 期	➤ 2月末日
店 舗 数	➤ 460店舗(2026年5月末現在)
従 業 員 数	➤ 1,853名(2026年5月末現在)

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。投資に関する決定は、閲覧者ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。